

「座り心地?」「美しいデザイン?」 —患者さんの快適性を追求する意味とは

今では想像できないことですが、半世紀以上前のデンタルユニットは、患者さんを椅子に垂直に座らせた状態で治療を行う診療スタイルでした。患者さんと術者は互いに体をひねり無理な姿勢で治療が行われていたのです。その当時からデンツプライシロナでは「人間工学理論」を取り組み、1960年代には仰臥位で治療するデンタルユニットが開発され、患者さんも術者も自然な姿勢で診療ができるようになったのです。それは今日のデンツプライシロナの診療姿勢の原点でもあります。

では、なぜ患者さんの快適性にこだわるのでしょうか?それは、デンツプライシロナの130年以上の歴史の中で、患者さんの快適性は、治療クオリティに大きく関わることを強く認識しているからです。患者さんが緊張せず自然な姿勢を保てることで、術者は治療に集中できる。すなわち、治療のクオリティが上がり、結果として治療予後に良い結果をもたらすからです。では、トリートメントセンターがもたらす患者さんの快適性とは何でしょうか?

■ デザイン

シンプルで流麗なフォルムと清潔な白。患者さんの目に最初に映るトリートメントセンターの印象は、これから始まる歯科医療への期待と信頼を醸成します。

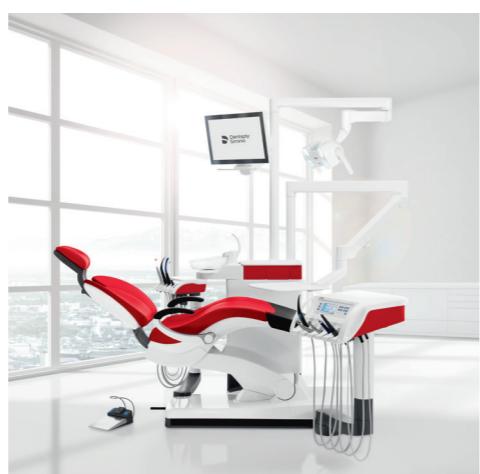
■ モーション

チェアは昇降やリクライニング、頭部角度などを調整し診療ポジションに移動しますが、トリートメントセンターは複合的に動きます。それはあたかも人が介助するかのように。真っ先に動く電動ヘッドレストは、「倒しますよ」とやさしく語りかけるように診療の開始を意識させ、リクライニングと昇降は同時にかつゆっくり滑らかに診療姿勢に誘導します。

トリートメントセンターは患者さんの不安に寄り添います。

■ ポジショニング

高い膝の位置と身体全体を面で支える背中のフォルムは、患者さんの腰の負担を軽減し、水に浮いたような楽な姿勢を作り出します。そのため、トリートメントセンターはあらゆる患者さんに対して長時間の診療でも身体的に負担の少ない姿勢を提供します。患者さんは楽な診療姿勢を保てるからこそ、治療を苦痛と感じず、むしろ前向きに捉え協力的になります。



デンツプライシロナでは、患者さんのリラックスはより良い治療結果をもたらすと考えています

The best place to be somewhere else.

TREATMENT CENTERS REPORT.

2019. August

福岡県福岡市 医療法人 美創会 歯科・林美穂医院

理事長 林 美穂 先生



デンツプライシロナ株式会社

本社／〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10 麻布偕成ビル

■支店・営業所

■札幌支店 Tel: 011-709-5800	■大阪支店 Tel: 06-6243-6636
■仙台支店 Tel: 022-266-4020	■広島支店 Tel: 082-546-2301
■東京支店 Tel: 03-5148-7895	■福岡支店 Tel: 092-518-1800
■横浜支店 Tel: 045-440-1521	■盛岡営業所 Tel: 019-604-2340
■埼玉支店 Tel: 048-799-2931	■庄内営業所 Tel: 0235-29-1217
■名古屋支店 Tel: 052-251-8467	■静岡営業所 Tel: 054-653-2711

BT 6312PD

賢く・優しく・美しい 歯科医院とは

福岡県福岡市 医療法人 美創会 歯科・林美穂医院 理事長 林 美穂先生

「患者様に安心感と信頼感を与えられる人は、表情にもしぐさにもその人となりが表れています。」

(林美穂先生/下釜祐子先生著「歯科医院の受付は賢く・優しく・美しく」より)

全国の女性歯科医師で組織されているWDC(Woman Dentist Club)を主宰しているのは、福岡市中央区で開業する林美穂先生である。国内の女性歯科医師の活躍は年々躍進を続けており、従前の“男社会”であった歯科業界は、すっかり様変わりし、現在、歯学部に入学する学生の2人に1人は女性だという。著書のなかで林先生が言う、「患者様に安心感と信頼感を与えられる人は、表情にもしぐさにもその人となりが表れる。」はどういうことか。そして歯科医院に必要な「賢さ」「優しさ」「美しさ」とはどのようなものか。林先生の思いに迫ってみたい。

開院当初から現在にいたるまでの医院の変遷をお聞かせください。

1998年に開業した当時は、25坪ユニット3台、スタッフは私を入れて3名でした。患者さんのターゲットは女性。インテリア、受付、接遇において、女性が通いやすいクリニックであることを一番に考えました。もちろん資金的に限界があったので(笑)、こじんまりとスタートした感じです。診療が軌道に乗ってくると、患者さんが増え、その一方で予約を入

れられないことが一番のストレスになったのです。そこで医院の拡張移転を決断したのが12年前。現在の医院は65坪、ユニット7台、歯科医師、歯科衛生士、受付、総勢11名の所帯となりました。さすがに65坪となると、導入したかったオペ室やマイクロなども入れられ、描いていた理想のイメージに近づいたのではないかと思っています。

医院に入った瞬間から、美しい天井画とスタッフの方の笑顔に迎えられたのが印象的でした。



徹底されたホスピタリティですね。臨床において患者さんに配慮されている点は?

どのような診療においても、患者さんに「苦痛な時間を過ごして欲しくない」という気持ちで、気を付けていることが2つあります。先ず1つ目に、ユニット周りが清潔であること。ホテルで言えば、髪やゴミが残っているのは気持ちが悪いですよね。なので、「前の患者さんの痕跡が感じられるユニットはイヤ」なはず。

医院コンセプトといえば、ホテルに例えるのが分かりやすいかもしれません。「ビジネスホテル」「大型シティーホテル」「外資系高級ホテル」「老舗旅館」。私は「外資系高級ホテル」タイプ、できれば“リツツカールトンのような歯科医院”を目指したかったのです。患者さんが来たいと思える、喜んでくれる、そんな場所です。来院されるのは患者さんだけではなく、そのご家族の方、付き添いの方などいらっしゃるかもしれません。そのため、受付待合スペースのほかに、多目的に使用できるリラクゼーションルームを用意しました。患者さんのみならず、全ての方々がくつろげる場所を作りました。

費やします。そして患者さんには「自分は丁寧に扱われている」という意識を持っていただけるような治療を心がけています。予約枠は最低1時間以上、長い場合は半日、もしくは終日のこともあります。そのような長時間の診療に、老若男女問わず対応できるよう努力しています。

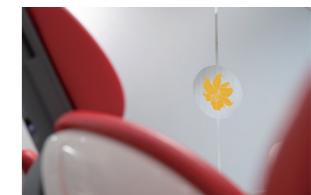


福岡県福岡市 医療法人 美創会 歯科・林美穂医院

理事長 林 美穂 先生

〈プロフィール〉
日本審美歯科協会会員
WCOI(国際口腔インプラント会議)評議員
IPOI(近未来オステオインプラント学会)認定、
インプラント指導医
日本顎咬合学会認定医・常任理事
日本口腔インプラント学会会員
AAP(アメリカ歯周病学会)会員
AO(アメリカインプラント学会)会員

日本歯周病学会会員
日本補綴歯科学会会員
日本臨床歯周病学会認定医・インプラント認定医
JUC会員
経基臨塾会員
スタディグループWDC会長



医院の「賢さ」「優しさ」「美しさ」とは

多くの先生方は提供する医療に対して、患者さんにその価値を理解してもらえる努力をされていると思います。その価値とは、医院のデザインやスタッフのおもてなしと同時に、しっかりととした医療技術の提供、という両輪で高めていく必要があります。そこで私は、治療の賢さ、患者さんへの優しさ、設備の美しさ、という表現をよくします。私の診療スタイルにおいて、デンツブライシロナのSiniusは非常にマッチしており、選択に間違いはなかった。特に女性歯科医の目標において非常に上手く設計された器械だと思います。一般論ですが、女性は物事を“デザイン”することが得意なのかもしれません。だって、世の中の流行は全て女性から発信されていますから(笑)。

トリートメントセンター「Sinius」が果たしている役割とは。

先ず最上の診療を提供する必要条件として、「患者さんへのおもてなし」と「最新の医療設備」「出来る限りの医療技術の提供」が挙げられます。その患者さんへのおもてなしを実現するための最新の医療設備である、そして私の医療技術を全面でサポートしてくれているのがSiniusです。特に、患者さんからの反応は、劇的に変わったと言っていいでしょう。とてもリラックスされているのか、治療中でも思わず眠ってしまう患者さんが多いです。そもそも「先生! 椅子を変えたんですね!」「フェラーリみたいでかっこいい!」「すごくおしゃれ!」と言ってくれました。これは、単にデザインを褒めてくれているように聞こえますが、実は患者さんの治療モチベーションの向上の表れではないでしょうか。フェラーリ=高級外車=値段が高そう! とは、患者さん自身が高価そうな医療機器を使って治療を受けている、見たこともないユニットやマイクロを使って治療が受けられ、自分は特別な待遇を受けている、という感覚です。それは、私と患者さんが共に、非常に

